

異文化間教育から見た 相互的言語教育の提案

- ドイツの事例から今後の日本の政策を考える -

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
安井 綾

問題意識

- 日本の教育は社会の「国際化」に十分対応していないのではないか？
- 外国人に対する日本語教育および母語教育・外国語教育・国際理解教育は、それぞれの領域で実践や研究が重ねられているが、各々別個のものにとらえられている

研究目的

- 「内なる国際化」を具現する教育政策、特に言語教育に関する教育政策の一案を提示する

提案内容

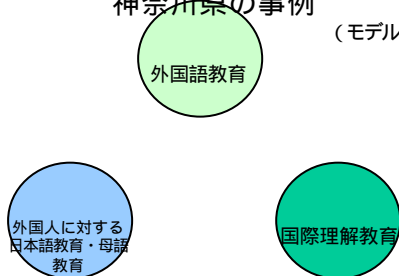
外国人に対する日本語教育および母語教育・外国語教育・国際理解教育の三領域を統合する視点 (= 異文化間教育の視点)

の視点に立った言語教育政策

二段階の提案

提案内容 : 三領域を統合する視点

現状分析：「国際化」への対応
神奈川県事例
(モデル図)



提案内容 : 三領域を統合する視点

例証 : 三領域を統合する視点の教育
ベルリン・ヨーロッパ学校

「出会いの学校」(Begegnungsschule)

- 1992年～ 実験
- 2002年 16小学校と10中等教育学校に約4200人が在籍 (cf. 約366,000人がベルリンの学校に在籍)

提案内容 : 三領域を統合する視点

例証 : 三領域を統合する視点の教育
ベルリン・ヨーロッパ学校

「ヨーロッパ学校」制度の特色

- 5歳から大学入学資格取得まで最長13年間のバイリンガル教育コース
- パートナー言語は英語、フランス語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、ポーランド語

提案内容 : 三領域を統合する視点

例証 : 三領域を統合する視点の教育
ベルリン・ヨーロッパ学校

「ヨーロッパ学校」制度の特色

- ドイツ語母語生徒とパートナー言語母語生徒が半数ずつのクラス
- ドイツ語での授業とパートナー言語での授業が同時間数

提案内容 : 三領域を統合する視点

例証 : 三領域を統合する視点の教育 ベルリン・ヨーロッパ学校

フィンウ小学校ヨーロッパ学校コース(独/伊)の授業時間数

学習領域・教科	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年
第一言語		7	7	6	6	5	5
パートナー言語		3	4	6	6	5	5
数学(独)		5	5	5	5	5	5
一般社会(伊)		3	2	3	5		
外国語(英語)						5	5
生物(伊)						2	1
地理(伊)						1	2
歴史・社会(伊)						2	2
スポーツ(独または伊)		2	2	2	1	2	2
水泳(独または伊)					1		
美術(独または伊)		1	2	1	2	1	2
音楽(独または伊)		1	1	2	1	2	1
合計授業時間	21	22	23	25	27	30	30

http://finow-grundschule.cids.bei.t-online.de/home_h.html

提案内容 : 三領域を統合する視点

例証 : 三領域を統合する視点の教育
ベルリン・ヨーロッパ学校

「一緒に学ぶ、お互いから学ぶ、お互いのために学ぶ」

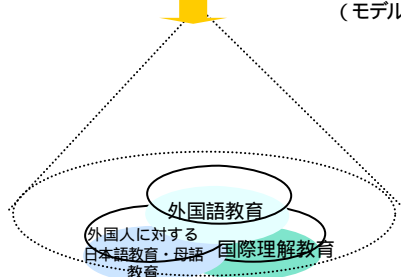
(Miteinander Lernen – Voneinander Lernen – Füreinander Lernen)

- 異なる言語、異なる文化への気づき(異文化間教育の視点)
- 早期・集中外国語教育
- 母語教育・ドイツ語教育

提案内容 : 三領域を統合する視点

例証 : 三領域を統合する視点の教育
ベルリン・ヨーロッパ学校

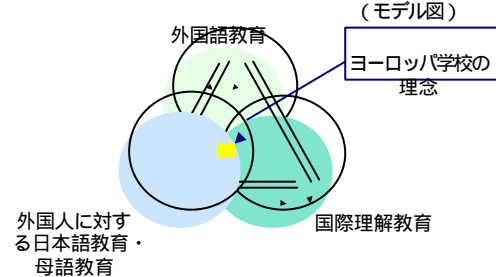
(モデル図)



提案内容 : 三領域を統合する視点

例証 : 三領域を統合する視点の教育
ベルリン・ヨーロッパ学校

(モデル図)



提案内容 : 三領域を統合する視点に立った言語教育政策

提案 : ヨーロッパ学校の日本への応用

検証 : ヨーロッパ学校は日本へ応用可能なのか?

ベルリンの成功要因
日本で成功要因になりえるもの

「政策主体」「言語教育」「外国人側の要求」「受け入れ側の動機」に分けて比較

提案内容 : 三領域を統合する視点に立った言語教育政策

提案 : ヨーロッパ学校の日本への応用

検証 : ヨーロッパ学校は日本へ応用可能なのか?

	ベルリン	日本
政策主体	教育上の権限が州に委ねられているため独自の政策立案・遂行が可能	教育特区など地域の自発性が尊重される構造改革の推進

地域に合わせた自由な試みが可能に

提案内容 : 三領域を統合する視点に立った言語教育政策

提案 : ヨーロッパ学校の日本への応用

検証 : ヨーロッパ学校は日本へ応用可能なのか?

	ベルリン	日本
言語教育	英語・フランス語・ロシア語教育の実績	英語教育の実績
	第二言語としてのドイツ語教育の実績	第二言語としての日本語教育の実績
	多様な外国語の授業	外国語教育の多様化
	早期外国語教育への要求	早期英語教育への要求

外国語教育の多様化・早期化の波
英語以外の外国語教育への意識向上が課題

提案内容 : 三領域を統合する視点に立った言語教育政策

提案 : ヨーロッパ学校の日本への応用

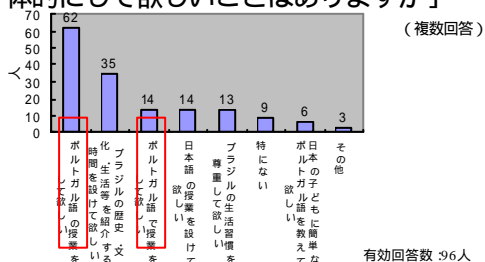
検証 : ヨーロッパ学校は日本へ応用可能なのか?

	ベルリン	日本
外国人側の要求	母語保障要求	母語保障への意識

提案内容 : 三領域を統合する視点に立った言語教育政策

提案 : ヨーロッパ学校の日本への応用

現在、子どもが通っている学校で、何か具体的にしたいことはありますか」



出典 : 古石篤子・平高史也合同研究会 (編著)、1998

提案内容 : 三領域を統合する視点に立った言語教育政策

提案 : ヨーロッパ学校の日本への応用

検証 : ヨーロッパ学校は日本へ応用可能なのか?

	ベルリン	日本
外国人側の要求	母語保障要求	母語保障への意識

母語保障への意識は確実に高まっている
居住の長期化に伴う意識変化

提案内容 : 三領域を統合する視点に立った言語教育政策

提案 : ヨーロッパ学校の日本への応用

検証 : ヨーロッパ学校は日本へ応用可能なのか？

	ベルリン	日本
受け入れ側の動機	ヨーロッパへの共属の意識	アジア意識

EUのような強い枠組みはないが、アジアなど地域意識のさらなる向上に期待ができる
関係各国と教育分野での連携を強化

提案内容 : 三領域を統合する視点に立った言語教育政策

提案 : ヨーロッパ学校の日本への応用

検証 : ヨーロッパ学校は日本へ応用可能なのか？

部分的に応用可能

- 現在あるニーズを顕在化させる

段階的に (将来的に) 応用可能

- ニーズを作り出す

- アジアを中心とした地域意識の強化
- 多様な外国語教育の研究・実践
- 外国人側からの強い母語保障要求
- 英語に対する意識の変化

結論

- 外国人に対する日本語教育および母語教育・外国語教育・国際理解教育の三領域を統合する視点に立った言語教育政策「ヨーロッパ学校」は日本にも応用可能である
- 現在の具体的な提案
 - 総合学習の中で「国際理解教育の一環として」外国語を導入
 - 教育特区などでヨーロッパ学校をモデルとしたコースを設置